

# 農業

愛知県は年間を通じて気候が穏やかで、農業に適した自然条件を備えた全国有数の農業県です。「キャベツ」、「きく」、「いちじく」等の多くの品目で全国トップクラスの産出額を誇っています。

## 米

日本人の主食である米は、農薬の使用を抑える技術、環境に優しい肥料を使用する栽培方法が確立しています。主な品種は、平坦部が「あいちのかおり」、「コシヒカリ」、山間部が「ミネアサヒ」ですが、「あいちのかおり」や「ミネアサヒ」は本県で育成した美味しい品種です。



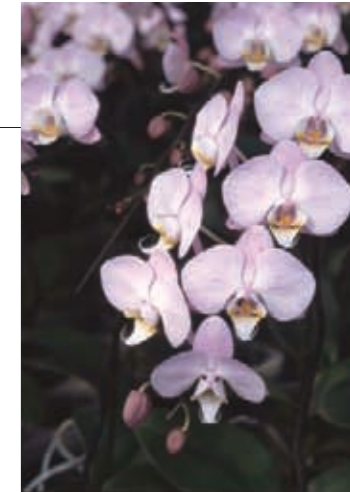
## ぶどう

巨峰の種なし栽培技術をはじめて確立したのは愛知県です。愛知県には各地にぶどうの直売所や観光ぶどう狩り園があり、シーズンになると多くのお客さんと賑わいます。



## いちじく

安城市や碧南市を始め県内各地で栽培され、全国一の産地となっています。昭和60年から低温流通システムが導入され、新鮮でよく熟したおいしいいちじくを食卓へ届けています。



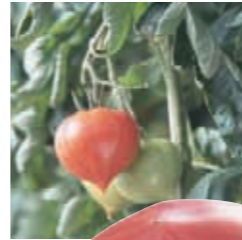
## しそ

愛知県では一般的に“大葉”といわれている、青じその栽培が盛んで、全国有数の生産県となっています。東三河地域を中心に、ガラス温室やビニールハウスで栽培され、一年中出荷されています。



## トマト

ガラス温室やビニールハウスでの栽培を中心に、品種や作型を組み合わせる1年中出荷されています。「ファーストトマト」は愛知県の特産品です。また、三河山間地域では、受粉作業が不要な品種が栽培されています。



## きく

太陽の出ている時間が短くなると花を咲かせる性質を利用して、人工的に昼の時間を長くすることで、開花時期を遅らせる栽培方法を電照栽培といえます。この方法は、愛知県で開発された技術で、今では全国で行われています。



## 洋らん

愛知県で洋らんの栽培が本格化したのは、昭和40年代(1965)以降で、現在では、「シンビジウム」、「ファレノプシス(胡蝶蘭)」、「デンドロビウム」等多くの種類が栽培されています。

## キャベツ

全国で最も古くから栽培を始めたのが愛知県で、農業用水が整備されたことにより、現在では東三河地域を中心に、全国有数の生産県となっています。愛知県では、11～4月の出荷が中心ですが、5～6月の出荷も増えています。



## 観葉植物

愛知県では昭和30年代(1955)に本格的な栽培が始まり、現在では、全国の生産の約半分を占める大産地となっています。非常に多くの種類の観葉植物が栽培されているのが特徴です。



## ふき

現在全国で栽培されている品種の約7割が「愛知早生」です。愛知県では、知多地域を中心に明治中頃から栽培されており、全国有数の生産県となっています。

## ばら

東三河地域を中心に県全体で生産されており、全国でも有数の産地です。近頃では、父の日の贈り物としてだけでなく、特徴のある様々な品種の登場により、色々な場面で使われるようになりました。



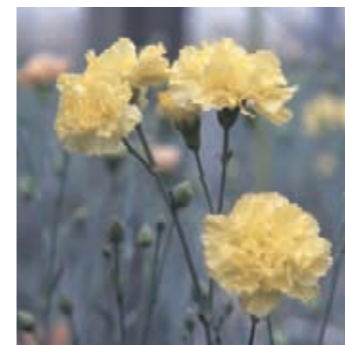
## いちご

ビニールハウスでの栽培がほとんどで、11月から5月にかけて出荷されています。現在は愛知県が品種育成した「ゆめのか」の栽培が少しずつ増えています。



## みかん

温室で栽培する“ハウスみかん”の栽培は、昭和44年に全国に先駆けて愛知県で始まりました。蒲郡市の「蒲郡温室みかん」、美浜町を中心とした「みはまっこ」等が有名なブランドです。



## カーネーション

カーネーションの生産は、5月第2日曜日の母の日に向けてピークを迎えます。スタンダードタイプ、スプレータイプとも、非常に多くの品種があります。愛知県は全国でも有数のカーネーション産地となっています。



## シクラメン

シクラメンは、日本の冬を華やかに飾る代表的な花です。日光に良く当て、枯れた花は早めに摘み取れば、長く楽しむことができます。